

「きんぼう春さがし」実施団体担当のみなさまへ

山形県金峰少年自然の家

1 提出書類 (①, ②, ③) は、利用日の28日前 (※) までにメールで送付してください。

【提出先メールアドレス kinbow@asoviva-p.jp】

- ① 「山形県金峰少年自然の家利用許可申請書」
- ② 「きんぼう春さがし 活動プログラム・給食申込書」
- ③ 「山形県金峰少年自然の家バス利用申込書」(自然の家のバスを使用する団体のみ)
- ※ ①～③の書式は、団体の御担当の方へ、メールにて送付済みです。もし紛失したという場合、お教えてください。
- ※ 別紙「きんぼう春さがし日程一覧」をもとに作成してください。

2 ご利用当日の流れ

- ① 到着 … 引率者は、受付カードの内容を確認してください。
- ② 出会いのつどい … 所長(または他の所員)が挨拶いたします。
オリエンテーション … 所員が注意点等の説明をします。
- ③ 春さがし活動 … 団体の自主活動となります。
- ④ 別れのつどい … 出会いのつどいと同じ。
- ⑤ 出発 … アンケート(フォーム)入力をお願いします。

3 荒天による延期または中止について

- ・前日までの判断 … 天候や活動場所の状況を自然の家にお問い合わせください。
- ・利用当日の変更 … バス出発時刻の30分前(海浜バスのご利用、または遠距離の場合は1時間前)までに、お電話で金峰少年自然の家までご連絡ください。当日が荒天に見舞われたために延期をご希望の場合は、まずはご相談ください。

4 金峰バスの利用について

- ・自然の家バス送迎時には、所員1名が添乗いたします。
- ・交通事情等で運行が遅れる場合、こちらから電話連絡いたします。

5 留意点

- ・当日の活動は、各団体「自主」活動となります。
- ・所員の支援は、事前のプログラム相談、バス送迎・添乗となります。
- ・所員は、自然観察コースへの同行はせず、概要の説明のみとなります。
- ・自然観察コースは多くの学校や園が利用します。花を摘むことはご遠慮ください。
- ・玄関に草花を紹介する資料や地図、最新のコース状況がわかるボードがあります。ご活用ください。

6 当日の服装、持ち物について

- ・長袖、長ズボン、首巻タオル、帽子を着用してください。
- ・虫よけスプレーの持参・使用は団体ごとにご検討ください。
- ・クマ鈴の貸し出しが可能です。

7 森の生き物や植物への対応について

- ・ハチ、ヘビなどに遭遇しても刺激せず、騒がずにその場から離れてください。

8 野外活動における安全対策

- ・昆虫や植物をさわった手で、目や顔をさわらないように注意してください。

危険要因	所としての対策	団体での対策
雷	・事務室、ラジオ等での情報収集。	・発生時は外での活動を中止する。 ・いち早く建物の中に入る。
スズメバチ (ハチ)	・ハチトラップの複数設置。定期的見回り。 ・団体へのハチジェットの出貸。	・大声を出したり、攻撃したりしない。 ・黒っぽい服装を避ける。
マダニ	・ささやぶの整備草刈り。 ・団体への服を払うためのマダニブラシ出貸。	・長そで、長ズボン、首巻タオル。 ・虫よけスプレー。 ・活動後の確認。発見時は医療機関へ。
毛虫 他害虫	・早期の防虫散布。定期的見回り。 ・専門家からの情報収集。	・長そで、長ズボンでの活動。 ・活動後の確認。被害時は医療機関へ。
クマ (サルなど)	・敷地内や近隣地区での出没情報の提供。 ・団体へのクマ鈴の出貸。 ・当日の朝巡回の実施。 ・クマ除け花火の打ち上げ。 ・定点カメラによる森の様子を確認。 ・屋外放送設備によるBGM再生。 ・クマ撃退スプレー出貸。(ただし、実際にご使用いただいた場合は、スプレー代の支払いが生じます。)	・引率者全員のクマ鈴の着用。(1列に並んで活動する場合、先頭、中間、最後尾の方がクマ鈴をつける。) ・餌となるような食品や生ゴミの放置はしない。 ・万一周りに遭遇したら、背を向けずに、クマを見ながらゆっくり後退する。
ウルシ ツタウルシ	・所員による定期的な見回りと伐採。	・長そで、長ズボンでの活動。 ・活動後の確認。被害時は至急医療機関へ。

9 ケガ、事故、病人等の発生時

ケガ、事故、病人等の発生時、または、救急車依頼、病院搬送時には事務室にもご連絡ください。緊急時は事後でもかまいません。

10 Instagramについて

- ・最新の植物の情報を投稿しています。ご利用ください。



きんぼうの山で素敵な春と会いましょう!

次のページの花の紹介
写真のナンバーです。

種類	名前	3月			4月			5月			場所	写真ナンバー
		上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬		
	マンサク										やまびこ上などコース随所	1
	オオミスミソウ(ゆきわりそう)										自然観察橋	2
	ショウジョウバカマ										コース随所	3
	キブシ										黄金の橋	4
	キクザキイチリンソウ										黄金の橋・非常階段付近	5
	カタクリ										コース随所	6
	コシノカンアオイ										コース随所	7
	ミズバショウ										ミズバショウ観察池	8
	シュンラン										第1展望台周辺	9
	イワウチワ										やまびこ周辺等随所	10
	山のサクラ(オクチョウジサクラ等)										コース随所、パイン広場	
	ウワミズザクラ										体育館わき	
	アオキ										コース随所	
	ユキツバキ										コース随所	
	カエデ										コース随所	
	シラネアオイ										本館周辺	11
	タムシバ										体育館わき、やまびこキャンプ場手前	12
	スミレ										コース随所	13
	ミヤマカタバミ										本館前の沢	
	オオカメノキ										観察コース入口	14
	イカリソウ										コース随所	15
	チゴユリ										コース随所	16
	ツルシキミ										コース随所	17
	エンレイソウ										本館前の沢	
	クロモジ										もみの木広場周辺、自然観察橋手前	
	ガマズミ										コース随所	
	コナラ										コース随所	
	クワ										食器庫向かい	
	ホオノキ										展望台から見えます	
	ヤマツツジ										ゲレンデ	
	タニウツギ										ゲレンデ	
	フジ										コース随所	
	ナナカマド										パイン広場入口	
	キリ										道路わき	
	ヤマボウシ										もみの木広場	

 草の花

 木に咲く花

※ カレンダーはおよその目安です。その年によって時期が異なることがあります。

金峰に咲く春の花リスト

NO	写 真	名 前	分類	豆知識
1		マルバマンサク	木に咲く	金峰の山で一番最初に咲く黄色い小さな樹木の花。フニャツとした感じの花びらが特徴的です。花が終わり、出てくる葉が「丸い形」をしているので「マルバ」という名前がつきます。春一番に「まず咲く」ので「まんずさく」から「マンサク」という名がついたという説や、一番先に咲く縁起のいい花であることから「豊年満作」から名がついた説があります。
2		オオミスミソウ	山野草	金峰少年自然の家の所花。青・白・ピンク、株によって様々な色の花がさきます。葉に3つの角（すみ）があることからミスミソウという名前がついたと言われています。（別名ゆきわりそう・つちざくら）金峰の春の象徴となる花です。
3		ショウジョウバカマ	山野草	花は一株から5～10個ほどつけます。根本から直接、花が咲き、その後莖が伸びるという順で成長します。この花を見た子ども達から「花火みたいな花だね。」という声がよく聞かれる花です。狸々（しょうじょう）という架空の生き物の、赤い顔や袴（はかま）の形に似ていることから名がついたといわれています。
4		キブシ	木に咲く	ブドウの房のように黄色い花をつけます。自然観察橋付近だけでなく、あちらこちらに見られる花です。花がフジの花のように垂れ下がるので「黄色の藤」から名前がついたという説があります。
5		キクザキイチリンソウ	山野草	日当たりの良いところに咲き、自然の家周辺で多く見られる花です。葉の形がきくに似ていることからこの名前がついたと言われています。花は紫や白があり、群生して咲きます。太陽の光を花卉いっぱいにつけながら咲いている様子もあいらしく、大変きれいです。
6		カタクリ	山野草	春の里山に咲く代表的な花です。紫の花をつけ、群生して咲きます。今はほとんどがジャガイモからとられていますが、もともとは片栗粉はこの花の根からとっていました。花びらを後ろになびかせ、うつむきかげん？。個性的な形の花で子ども達にも人気の花です。観察しながら、何の形に似てる？など問いかけてみるのもよいと思います。春の女神といわれる「ギフチョウ」が蜜をすいにやってくるので、天気の良い日にはギフチョウがカタクリの花畑を舞う姿を見ることができます。
7		コシノカンアオイ	山野草	雪がまだ残っている頃から地面にはいつくばるように咲いています。ギフチョウが卵を産むことでもよく知られている山野草。花の形や色が個性的。2～3枚の葉に1～2つ花をつけていることが多いですが、中には花を5～10もつける株も見られます。（巣の中で親鳥にえさをせがむ小鳥のようにも見えます）。色や形だけでなく、手触りも独特。子ども達にそっとさわらせてみるとおもしろい反応が返ってくることでしょう。目立たない色をしているので見つける時には「地面にはうようにして生えるハート型の葉」を目印にすると良いです。
8		ミズバショウ	山野草	湿地帯に咲く、代表的な山野草。自然の家では「もみの木キャンプ場上の湿地帯」に群生地がありたくさん花を見ることができます。4月上旬からおよそ1ヶ月以上も花を咲かせます。花びらのように見える白い部分は「包」といい、その中の棒状の部分にたくさんついているのが花です。

金峰に咲く春の花リスト

NO	写 真	名 前	分 類	豆知識
9		シュンラン	山野草	形は名前の通り「ラン」らしい形をしています。自然観察コースのあちらこちらに咲いていますが、色が緑色をしているので、見逃してしまうことも多いようです。「10本ほどかたまって直接地面から生えている細長い葉」を目印に探すと小さな花をつけたこの花を見つけることができますと思います。
10		イワウチワ	山野草	自然観察コースのあちらこちらに群生しており、4月上旬頃から最盛期を迎える花。ピンク色でフリルのついたようなかわいらしい花びらで自然の家でも人気の春の花です。葉の形が「うちわ」に似ていて、岩場にも多いのでこの名がつけられたとされています。
11		シラネアオイ	山野草	直径5cm前後の大きい花をつけ、高さも30cmを超えるので、目立ち、見つけやすい花です。自然の家観察コースから少し外れたアスレチック「スカイケーブル」の近くに群生している様子は大変見応えがあります。紫の花びらに見えるところは実は「がく」で黄色の部分の花です。
12		タムシバ	木に咲く	モクレンの仲間の花で、4月中旬から5月初め頃まで花をつけます。高いもので5m以上のところにも咲きます。白く大きい花をつけるので、遠くに見える山の中でさいているものも見つけることができます。
13		スミレ	山野草	一口にスミレといっても、山形県にも40種類ほどあると言われるています。庄内では8種類ほどといわれています。自然の家にはスミレサイシン・タチツボスミレ・マキノスミレなどが咲きます。子ども達と観察するときには種類にこだわらず小さな「スミレ」の花を楽しむだけで充分だと思えます。
14		オオカメノキ	木に咲く	自然の家の中で至る所に見られる花です。葉の形がカメの甲羅に似ていることからこの名前がついたといわれています。葉と花がほぼ同時期にひらくので、春さがしの時にも花と一緒にカメの甲羅のような葉をみるすることができます。花は小さいのですが、葉は大きく、子ども達の手や顔と大きさ比べをして見るのもよいと思います。また、花はほんのりいいかおりがするので、においをかいでみることをお勧めします。
15		キバナ イカリソウ	山野草	自然観察コースの至る所で花を咲かせる小さな花。花の形を船の碇に見立てて名付けられました。碇のように伸びているのが「花びら」でその根本の幅の広いのが「がく」です。花の形がとてもユニークなので、じっくり観察してみることをお勧めします。
16		チゴユリ	山野草	1~2cmの小さな花。チゴとは「稚児」のことをあらわしています。自然観察コースや登山道の両脇に咲いているのが見られます。夏には緑色の実をつけ、秋には紫色になり、秋さがしでも実をたくさん見つけることができます。
17		ツルシキミ	木に咲く	自然観察コースでよく見られる低木。4月後半から5月初旬にかけて、枝や株の中央に小さな花がまとまって咲きます。近づいてよく見ると花びらの形がはっきりとしていて、かわいらしくとてもきれいな花です。

コシノカンアオイ

花は土の中にかくれていることも…



ハートマークのはっぱのそばに花があります

マンサク



急な階段に気をつけて!

タヌキ・キツネのトイレ



第一展望台

景色がきれいだよ!

メルヘンキャンプファイヤー場



みずばしょう池

すいはん場

もみの木キャンプ場



やまびこキャンプ場



すいはん場

TOILET

TOILET

TOILET

ゲレンデ

砂利ですべらないように気をつけて!

冒険の森

木の上

はしから落ちないように気をつけて!

ツルシキミ



キフシ



シラネアオイ



登山道

自然観察橋

イワウチワ



チゴユリ

スミレ

オオミスミソウ

3つに分かれた葉が特徴

P

自然の家本館

パイン広場



オクチョウジザクラ

いろいろな場所で見られる植物



カタクリ



ショウジョウバカマ

+++ ...階段

きんぼう 春さがしマップ

「春さがし」おすすめの活動について

1 自然の中を散策するだけで、たくさんの発見が待っています

(1) 自然観察コースを歩こう

金峰少年自然の家「自然観察コース」では、春の山野草を十分楽しむことができます。コースを散策していくと、実に様々な植物と出会えます。大人が気づかないものでも、子どもたちの低い視線と好奇心が「不思議なもの」「神秘的なもの」をどんどん発見すると思います。

(2) 自然を大切に

自然観察コースは「野あそび」にやってくる子どもたちが多く通ります。花を摘むことはご遠慮ください。

2 「ネイチャーゲーム」で「五感で自然を感じる」ことができる活動に

ネイチャーゲームは、五感を働かせて自然の不思議、すばらしさに気づくきっかけづくりになるゲームです。ぜひ取り入れてみてはいかがでしょうか。

(1) 「音いくつ」(聴覚)

耳をすまして、森の中から聞こえてくる「自然の音」をじっくり聞くゲームです。森の中であればどこでも手軽にできるゲームです。

- ① 1分間目を閉じ、静かに耳を澄まして聞こえた音の数を数えます。
- ② 1分後、いくつ音が聞こえたか、どんな音が聞こえたかを発表しあいます。ふだんは、聞き逃している音がたくさんあること、季節によって音が違うことがわかります。

(2) 「はるのいろあわせ」(視覚)

森に入り、カード(別ページに添付)を使って色をさがします。

- ① あらかじめカードの口に色をぬるか、色紙を貼ります。
- ② そのカードを持ちながら、森の中に同じ色があるか探して歩きます。
- ③ 後にどんな色があったか、友だち話し合う機会を設けると効果的です。

☆この他にも自然にふれる遊びがあります。ご希望の場合は、職員にご相談下さい。

3 春の里山をかけめぐろう

(1) 子どもたちが自由に遊べる時間を

子どもたちを森の中に連れて行けば、自然に遊び始めます。

子どもたちに何をさせようかとあれこれ悩むよりも、まず、野山に連れ出すことが一番です。

(2) 雨も雪も自然です

「晴れ」であれば一番良いのですが、思い通りにいかないのが天気。当然雨の場合もあります。雨が降った時でなければ見られないもの、感じるできないものも自然の中にはたくさんあります。(例えば 花の色が鮮やかになったり、葉っぱの裏で雨宿りするギフチョウと出会ったり) 雨の時でも、雨具や長靴などの装備と着替えの準備をしっかりとっておけば十分活動できます。雨にも負けず山へでかけることをおすすめします。残雪もまた自然です。雪のかけにそっと隠れる春を探し当ててはいかがでしょうか。

活動の時間 30分～60分 活動人数 何人でも [班活動も可]

宝さがし

[聴覚] [視覚] ☆活動時間：30分～60分 ☆活動人数：何人でも [班活動も可]

自然の中を歩きながら、宝物リストカードに示されたものを探してくるゲームです。五感をはたらかせて、自然からの発見や感動を得ることができるゲームです。

ゲームのわらい

・感覚を使いながら、自然に触れる、関わる、自然を感じる。

準備するもの

- ・宝物リストカード【自然の家で貸し出しできます】
- ・集めたものを入れるもの（袋など）【団体でご準備下さい】

◆◆活動の進め方◆◆

- ①宝物リストカードを配る（班活動の場合は班に1枚）
- ②ゲームのやり方を説明する。
 - ・カードの中にあるものをさがす。
 - ・よく見て、さわってみて、においをかいで、聞いて（感覚を十分に使いながら）探す。
 - ・活動の範囲と集合方法を確認。
 - ex) 自然の家周辺の広場（もみの木広場、やまびこキャンプ場）で実施する場合。
 - ・どこからどこまでの範囲で活動するかを伝える。
 - ex) 自然観察ハイキングコースを散策しながら実施する場合。
 - ・コースにそって、散策しながら活動することを伝える。
- ③宝物リストを確認する。
- ④活動の開始→活動スタート→指導者・引率者は同行しながら活動の支援・見守り
- ⑤活動終了
 - ☆自然の家周辺広場で実施の場合 →指導者・引率者が合図で集合
 - ☆自然観察コースを散策しながらの場合→全員がコースを回り終えたら終了
- ⑥ふりかえり・わかちあい
 - ・集めてきたものをお互いに発表しあう。
- ⑦まとめ
 - ・ふだんはあまり気づかないこと（自然の中にかくれている発見）も、じっくり見る・観察ことで発見することができる。
 - ※その後の活動に生かすことができるよう、に自然への気づきを認め、促す話をしてまとめる。

活動の時間 5分 活動人数 何人でも [全員一斉活動も可]

音いくつ

[聴覚] ☆活動時間：5分 ☆活動人数：何人でも [全員一斉活動も可]

耳をすませて、森の中からきこえてくる「自然の音」をじっくりと聞くゲームです。感覚を集中して、いろいろな音を聞いているうちに心も静まり、自然との一体感を得ることができます。

ゲームのわらい

- ・聴覚を集中させて音を数えることにより、まわりから聞こえる音に気づく。
- ・音を通して自然の営みを感じる。

※道具は必要ありません。

◆◆活動の進め方◆◆

活動場所は自然の家周辺の広場など、活動エリア森の中であればどこでも実施できます。

- ①音に意識をむけるような導入の話をする。
- ②ルールを説明する
 - ・引率者・指導者の開始の合図で、1分間、目を閉じて、静かに耳を澄まして聞こえた音の数を数えながら森（自然）の音を聞く。
 - ・数えるときは両手で聞こえてくるたびに指を1本ずつ折っていく。
 - ・終わりの合図で終了。
- ③ふりかえり
 - ・いくつ音を数えることができたか、どんな音が聞こえたなど、発表しあう。
- ④まとめ こんなことを話してみてもどうでしょう
 - ・自然の中にはいろいろな音（木の葉・森・水・鳥の鳴き声）がある。
 - ・ふだんは聞き逃してしまっている音でも、じっくり目を閉じて耳を澄ませると聞こえてくる。
 - 自然の中に入って活動するときに五感をはたらかせると新しい発見がある。

活動の時間 10分 あれば簡単にできる [ネイチャーゲーム]

色いくつ

[視覚] ☆活動時間：10分 ☆活動人数：何人でも [全員一斉活動も可]

「見る」ことに意識を集中させて、周辺の自然にいくつ色があつたか数えます。やっているうちにたんだん感覚がとぎすまされて、今までに気づけなかった自然の色の美しさや多様さに気づくことができるゲームです。

ゲームのわらい

・自然の中にある様々な色に気づく。 ・周囲の自然の情景に気づく。

※道具は必要ありません。

◆◆活動の進め方◆◆

活動場所は自然の家周辺の広場など、活動エリア森の中であればどこでも実施できます。

- ①参加者の心を落ち着かせ、色に意識をむけるような導入の話をする。
- ②ルールを説明する
 - ・エリア内で自分が気に入った場所を選び、そこに移動する。
 - ・引率者・指導者の開始の合図で、1分間、その場から動かずに見える範囲の景色の中から自然の色を見つけ、いくつ見つけたか数える。
 - ・数えるときは両手で色を見つけたら指を1本ずつ折っていく。
 - ・終わりの合図で終了。
- ③ふりかえり
 - ・いくつ色を見つけたことができたか、どんな色を見つけたかなど、発表しあう。
- ④まとめ こんなことを話してみてもどうでしょう
 - ・自然の中にはいろいろな色がある。
 - ・ふだんは見逃してしまっている色や景色でも、じっくり見ることでいろいろな発見がある。→自然の中に入って活動するときに五感をはたらかせることで新しい発見がある。

活動の時間 30分～60分 活動人数 何人でも [班活動も可]

フィールドビンゴ

[聴覚] [視覚] ☆活動時間：30分～60分 ☆活動人数：何人でも [班活動も可]

ビンゴゲームの自然体験版。楽しい雰囲気の中で五感をはたらかせて、自然からの発見や感動を得ることができるゲームです。

ゲームのわらい

・感覚を使いながら、自然に触れる、関わる、自然を感じる。

準備するもの【自然の家で貸し出しできます】

- ・フィールドビンゴカード
- ・筆記用具

◆◆活動の進め方◆◆

- ①フィールドビンゴカードを配る（班活動の場合は班に1枚）
- ②ゲームのやり方を説明する。
 - ・カードの中にあるものを捜す。
 - ・見つけたら項目をまるでかこんでいく。
 - ・ビンゴがそろったら、大きな声で「ビンゴ」という。
 - ・よく見て、さわってみて、においをかいで、聞いて（感覚を十分に使いながら）探す。
 - ・活動の範囲と集合方法を確認。
 - ex) 自然の家周辺の広場（もみの木広場、やまびこキャンプ場）で実施する場合。
 - ・どこからどこまでの範囲で活動するかを伝える。
 - ex) 自然観察ハイキングコースを散策しながら実施する場合。
 - ・コースにそって、散策しながら活動することを伝える。
- ③ビンゴでさがすものを確認する。
 - ※本日のスペシャルもここで発表（本日スペシャルは一季節にあわせたもの、見つけて欲しいものなど参加者・引率者のアイデアで決めて下さい）
- ④活動の開始→活動スタート→指導者・引率者は同行しながら活動の支援・見守り
- ⑤活動終了
 - ☆自然の家周辺広場で実施の場合 →指導者・引率者が合図で集合
 - ☆自然観察コースを散策しながらの場合→全員がコースを回り終えたら終了
- ⑥ふりかえり・わかちあい
 - ・見つけたものをお互いに発表しあう。
- ⑦まとめ
 - ・ふだんはあまり気づかないこと（自然の中にかくれている発見）も、じっくり見る・観察ことで発見することができる。
 - ※その後の活動に生かすことができるよう、に自然への気づきを認め、促す話をしてまとめる。

【ネイチャーゲーム】



森の色あわせ

【視覚】 ☆活動時間：30分～60分 ☆活動人数：何人でも【班活動も可】

自然の中にはいろいろな色にあふれています。「色あわせ」を通して、微妙な色の違いや自然の多様さを感じることができるゲームです。

ゲームのねらい

- ・ 自然の中にある様々な色に気づく。
- ・ 視覚を通して、自然の多様さを感じる。

準備するもの【自然の家で貸し出しできます】

- ・ 森の色あわせカード ・ 見つけた物を入れるもの（袋など）

◆◆活動の進め方◆◆

① 森の色あわせカードを配る（班活動の場合は班に1枚）

② ゲームのやり方を説明する

=やり方=

- ・ 「森の色あわせカード」にある色と同じ色のものを探す。
- ・ 拾ってこられるものがあれば拾ってくる。
- ・ 活動の範囲と集合方法を確認

ex) 自然の家周辺の広場

（もみの木広場、やまびこキャンプ場）で実施する場合。

- ・ どこからどこまでの範囲で活動するかを伝える。

ex) 自然観察ハイキングコースを散策しながら実施する場合。

- ・ コースにそって、散策しながら活動することを伝える。

③ 活動スタート→指導者・引率者は同行しながら活動の支援・見守り

④ 活動終了

☆自然の家周辺広場で実施の場合 →指導者・引率者が合図で集合

☆自然観察コースを散策しながらの場合→全員がコースを回り終えたら終了

⑤ ふりかえり・わかちあい

- ・ 見つけた色をお互いに発表しあう。

ex) 一色ずつとりあげ、その色についてお互いに見つけた物を発表し合う。

ex) 見つけた色でカードの色と一番近いと思うものを発表しあう。

⑦ まとめ

- ・ 自然の中には、似ていても多くの色があること。
 - ・ ふだんはあまり気づかない色（自然の中にかくれている発見）にも、じっくり見る・観察ことで発見することができる。
- ※その後の活動に生かすことができるよう、に自然への気づきを認め、促す話をしてまとめる。

【ネイチャーゲーム】



おなじものを見つけよう

【視覚】 ☆活動時間：30分～50分 ☆活動人数：1回1人～15人位【班活動も可】

提示された（事前に集めておいた）自然物（木の実・枝・葉など）を自然の中から見つけ出してくるゲーム。限られた時間の中で記憶し、探し出す目的を持たせることで自然に対してじっくり見る感覚をもたせることができます。

ゲームのねらい

- ・ 感覚を使いながら、自然に触れる、関わる、自然を感じる。

準備するもの【自然の家で貸し出しできます】

- ・ バンダナ

◆◆活動の進め方◆◆

① 事前に指導者・引率者が活動フィールドでひろえる自然物を5～10種類集め、バンダナの上にならべ、さらに上からもう一枚バンダナをかぶせておく。

② 参加者を集める。

③ ゲームのやり方を説明する

=やり方=

- ・ 15秒から20秒（対象年齢によって調整）かぶせてあるバンダナを取るの、おいてある自然物をよく見る。

- ・ おいてあったものと同じ自然物を探してくる。ただし、おちているもののみを拾ってくる。

☆説明が終わったら☆☆

④ バンダナを（班ごとに1枚）わたし、袋状にする。

⑤ 15秒から20秒かぶせてあるバンダナをとり、全員にじっくり見せる。

- ※手にとって触れてはいけない。

⑥ 活動場所、範囲、集合の仕方（引率者・指導者の合図などで集まること）を伝え、班ごとに探しに行く。

⑦ 再集合の合図で全員を集める。

⑧ 引率者・指導者がはじめに提示したバンダナのまわりに集まり、1つ1つバンダナの下から取り出し、同じものが探せたかどうか答えあわせをしながら話し合う。

⑨ ふりかえり

- ・ 活動して感じたことを話し合う。

※見つけにくかった物、見つけやすかった物・落ちていた場所、拾ってきたものの自然の中での役割、自然の営み、仕組みに目を向けることができるように声かけをしながら進める。

⑩ 用具の返却、後始末

- ・ 拾ってきたものは自然の中に返してあげる。

はるのいろあわせ

□(しかく)のなかをすきないろでぬったり、
いろがみをちぎってはったりして森の色あわせカードを作ろう。
カードができあがったら森の色あわせゲームをやってみよう。
森のなかにはどんないろがかくれているかな？

はるのいろあわせ

□(しかく)のなかをすきないろでぬったり、
いろがみをちぎってはったりして森の色あわせカードを作ろう。
カードができあがったら森の色あわせゲームをやってみよう。
森のなかにはどんないろがかくれているかな？

自由にクラフト

※団体のねらいに合わせて活用ください。

ボンド類各種	各10円	ホットボンド、木工用ボンド、多用途ボンド
絵の具類各種	各10円	絵の具、カラーペン、色鉛筆

気軽にクラフト

種類	内容	種類	内容
<p>木メダル</p>  <p>所要時間：1時間 難易度：幼児～(☆) 料金：50円 用具：毛糸、ヒートン、紙やすり マジックペン</p> <p>・切っている雑木にやすりをかけ、好きな絵を描き、ヒートンを差し込み、ひもをつけます。</p>		<p>プラ板 キーホルダー</p>  <p>所要時間：1時間 難易度：幼児～(☆) 料金：80円 用具：プラ板、キーホルダー マジックペン、クッキングシート</p> <p>・プラスチック板に好きな絵や言葉をかきます。トースターで加熱すると、1/4に縮んでキーホルダーになります。</p>	
<p>マイバッジ</p>  <p>所要時間：30分～1時間 難易度：幼児～(☆) 料金：60円 用具：紙やすり、マジックペン 名札用クリップ(粘着テープ 安全ピン付き)</p> <p>・切っている雑木にやすりをかけ、好きな絵を描き、裏にクリップを取り付けます。</p>		<p>カラー版の画像 をご覧になりたい 方は、下のQR コードからおつな ぎいただき、金峰 少年自然の家ホーム ページでご覧ください。</p> 	

ホットボンドで広がる楽しさ

種類	内容	種類	内容
<p>雑木クラフト</p>  <p>所要時間：1時間～ 難易度：小1～(☆☆～) 料金：40円 用具：ホットボンド、動眼 マジックペン、木工用ボンド</p> <p>・いろいろな形の木切れや枝を組み合わせ、ホットボンドで接着し、アイデア豊かに創ります。</p>		<p>松ぼっくりツリー</p>  <p>所要時間：1時間 難易度：小1～(☆☆) 料金：30円 ※ビーズなどの飾りは、各団体が準備。 用具：ホットボンド、マジックペン</p> <p>・松ぼっくりを木の台座にのせます。ホットボンドで木の実などをつけて飾ります。</p>	
<p>メモリアル フォトフレーム</p>  <p>所要時間：1時間30分～ 難易度：小1～(☆☆～) 料金：130円 用具：ホットボンド、マジックペン</p> <p>・既成のフォトフレームにホットボンドで木の実や枝をつけて飾ります。</p>		<p>ネイチャー キーホルダー</p>  <p>所要時間：1時間～ 難易度：小1～(☆☆～) 料金：90円 用具：ホットボンド、キーホルダー ヒートン、動眼、紙やすり マジックペン</p> <p>・台座にヒートンとキーホルダーチェーンをつけ、ホットボンドで木の実や雑木、動眼で飾り付けをします。</p>	
<p>ルームボード (表札)</p>  <p>所要時間：1時間～ 難易度：小1～(☆☆) 料金：90円 用具：ホットボンド、ヒートン、毛糸 紙やすり、マジックペン</p> <p>・木の板に木の実や枝などをホットボンドで飾り付けます。</p>		<p>ネイチャーリース</p>  <p>所要時間：2時間 難易度：小1～(☆☆) 料金：30円 ※つるを巻いた台は、各団体が準備。 ※ビーズなどの飾りは、各団体が準備 用具：ホットボンド、マジックペン</p> <p>・つるを巻いた台に松ぼっくりなどをホットボンドでつけて飾ります。</p>	

※太枠で囲まれているクラフトは、雨天・荒天プログラムにおすすめのクラフトです。
※ホットボンドを使用して行うクラフトについては、持ち帰る際に作品が破損しないように入れ物等をご持参ください。

☆印の見方	
「☆」	易しい
「☆☆」	↓
「☆☆☆」	難しい